

新製品インフォメーション

2018年12月発売予定

2018年にデザインを一新した、砂かけばばあ列車とこなきじじい列車を製品化



◆実車ガイド

- ・水木しげる先生の出身地である境港と米子を結ぶ境線では、「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターたちの異なるラッピングが施されたキハ40系が運用されています
- ・キハ47形の砂かけばばあ列車とこなきじじい列車は、2018年1月よりデザインをリニューアルして活躍を開始しました

◆製品化特徴

- ・ハイグレード(HG)仕様
- ・キハ472019は2018年1月にリニューアルされた砂かけばばあ列車の姿を再現
- ・キハ472004は2018年1月にリニューアルされたこなきじじい列車の姿を再現
- ・車番は印刷済み・Hゴムは黒色で再現
- ・ヘッド・テールライト・前面表示部は常点灯基板装備・ON-OFFスイッチ付
- ・ヘッドライトはカラープリズムの採用により電球色に近い色で点灯
- ・前面表示部は交換式で印刷済みパーツ「境港」を装着済み
- ・前面表示部は交換用「米子」「臨時」印刷済み別パーツを付属
- ・列車無線アンテナ、信号炎管など付属
- ・新集電システム・黒色車輪採用
- ・フライホイール付動力採用
- ・DT22形台車を装備
- ・TNカプラー(SP)標準装備

<別売りオプション>

室内灯:<0733>LC(白色)

■セット内容・編成例

(2018年1月～)



キハ472019(M)
(砂かけばばあ列車)

キハ472004
(こなきじじい列車)

Set

Set

<98055>

JR キハ472000形ディーゼルカー(砂かけばばあ列車・こなきじじい列車)セット

(2両)

予価 ¥12,700(税抜)

JR西日本商品化許諾申請中 ©水木プロ

緑の小型車をあなたのレイアウトに



写真:久保田 敦

◆実車ガイド

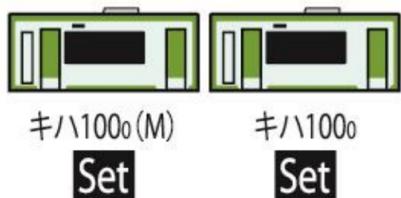
- ・キハ100形ディーゼルカーは1990年にキハ20形やキハ45形などの置き換え用として登場しました
- ・試作車4両が最初に製造され、1991年には改良された量産車(1次車)が製造されました
- ・同年には1次車からスカート形状が変更された2次車が登場しました
- ・現在、大船渡線・北上線・釜石線・大湊線のほか一部の車両は青い森鉄道線内にも乗り入れ活躍しています

◆製品化特徴

- ・キハ100を新規製作で再現
- ・前面表示部は「普通」印刷済み
- ・車番は選択式で転写シート付属
- ・幌枠別パーツ付属
- ・アンテナなど別パーツ付属
- ・ヘッド・テールライト・室内灯は常点灯基板装備
- ・ヘッド・テールライトはON-OFFスイッチ付
- ・フライホイール付動力採用
- ・銀色車輪採用
- ・TNカプラー(SP)装着済み
- ・ミニカーブ走行可能
- ※転落防止幌は再現しません

■セット内容・編成例

(1991年6月～)



キハ100o(M)

キハ100o

Set

Set

<98057>

JR キハ100形ディーゼルカー(2次車)セット

(2両)

予価 ¥10,300(税抜)

JR東日本商品化許諾申請中

TOMIX

※製品は、実車の型式・仕様とは異なる場合もありますのでご了承をお願いいたします。 ※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。